

室蘭・海星学院高バスケット部の長岡

室蘭の海星学院高校バスケットボール部(中島洋介監督)の長岡侑里(17)＝2年＝が、日本バスケットボール協会の全国選抜「女子U-18トップエンデバー」に選出された。同部からは初めて。7日から3日間、東京都内で行われている合宿に「チャレンジ精神を持ってやっていく」と臨んでいる。(奥村憲史)

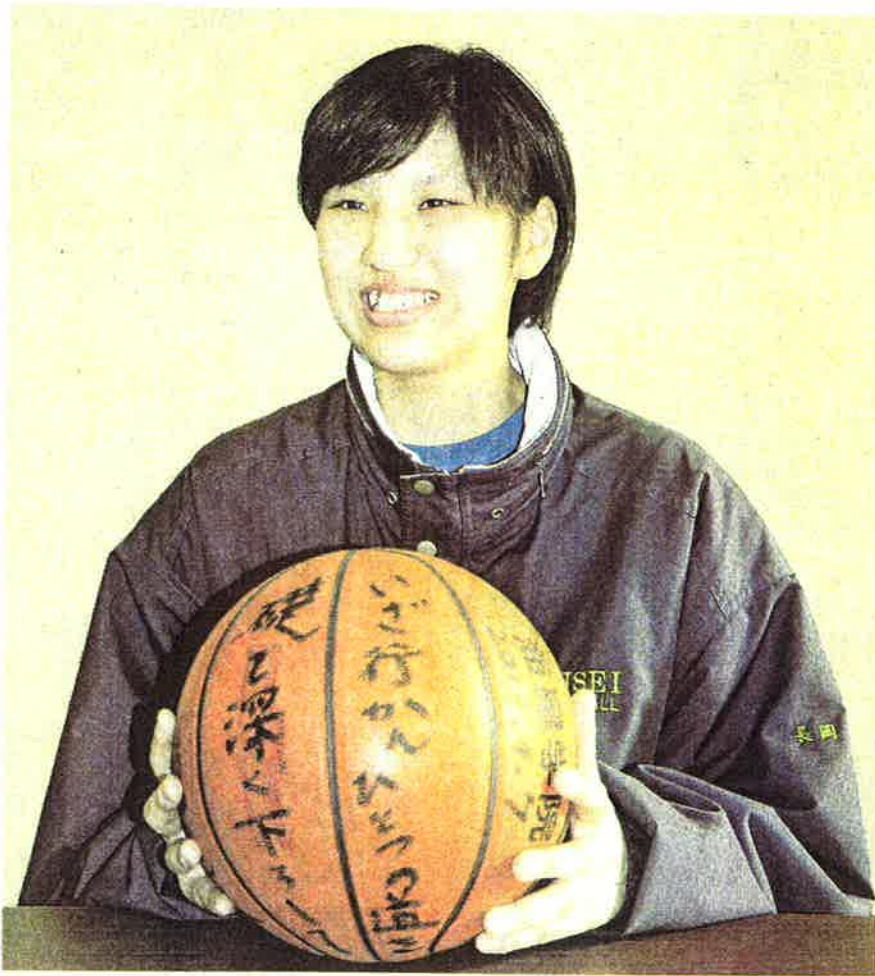
エンデバー制度は、同協会が選手の発掘・育成を狙い、2002年度(平成14年度)からスタートした。全国9ブロックから今回は38人が選ばれた。北海道ブロックエンデバーは2月にあり、長岡のほか札幌山の手の選手1人がトップエンデバーに選出された。

ブロックエンデバーでは2対2や3対3などを通してオフセンス、ディフェンスの総合力が判断された。自分をアピールできていなかったのが選ばれて驚いたと笑顔。「全国のトップ選手が集まるので、チャレンジ精神を持って自分の実力を試す」と続けた。

苫小牧明野小2年生の時に競技を始めた。175センチのサウスポード、当たり負けしない体の強さがある。海星学院では1年の新人戦からセンターとして活躍。昨年は国体メンバーに選ばれ、北海道のベスト4進出に貢献した。2月の全道新人戦では、同校の3年連続

準優勝の立役者となった。現在は、センターからフォワードにコンバート。インパクトのあるドライブを学んできた。インターハイに出られるよう、得たものをチームに伝えたい。中島監督は「レベルの高い中、いろいろなことを勉強してきてほしい」とエールを送っている。(奥村憲史)

あすまで合宿「実力試す」



U-18全国選抜入り

「女子U-18トップエンデバー」に参加している長岡